令和元年度

事業年報

九州ブロック血液センター

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

品 質 方 針

献血者の意思を活かし、医療現場の期待に応えるため、
関係法令等を遵守し持続可能な血液事業の基盤を確立する

1　行政、医療関係者、教育関係者らと連携して、医療を支える献血文化を次世代に引き継ぎます。
2　献血者から信頼される採血、適切な検査・製造体制により、患者に安心、安全な血液製剤を提供します。
3　行政、医療機関等と連携し、適切な供給体制を実現します。
4　献血から供給に至る、各業務間の情報共有・連携を強化して、的確・効率的な事業運営を推進します。

令和元年 11 月1日　　血液事業本部長　髙橋 孝喜

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

Basic Principle

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

基本理念

血液製剤を必要としている方の尊い生命を救うため

需要に応じた献血血液を安定的に確保し

安全性・品質向上に取り組み

献血者の皆様の想いを届けます

日本赤十字社　九州ブロック血液センター

基本理念

献血と輸血医療を赤十字の使命をもって結ぶ

ビジョン

献血思想の普及ならびに安全な血液の安定供給のために地域血液センターと協働し、活力に満ちた九州ブロックの血液事業を展開する。

基本方針

血液事業のプロフェッショナルを目指します。
九州ブロックの血液事業を適正かつ円滑に遂行し、透明な事業運営を行います。
献血の絆を大切にし、血液製剤の更なる安全性と安定供給を目指します。
赤十字の使命を自覚し、誇りをもって主体的に行動する人材を育てます。
献血者・受血者・医療機関から期待されるチャレンジャーであり続けます。

ご挨拶

日本赤十字社
九州ブロック血液センター
所長　入田　和男

九州ブロックにおける血液事業の推進につきましては、平素より献血者の皆様をはじめ、九州・沖縄の地方公共団体、献血推進・協力団体の皆様、医療機関及び関係各位のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。この度、令和元年度の事業年報を取りまとめましたので、ご高覧いただければ幸甚に存じます。

令和元年度の第４四半期は、まさに新型コロナウイルス感染症エンデミックの序章とでもいえる時期となりました。政府も、行政も、国民も、そして私ども血液センターも、先の展開を見通すことができず、結果的には全ての対応が後手に回る状況でした。企業・団体、教育機関などの献血辞退が相次いだことにより、赤血球製剤の在庫危機にも幾度か陥りました。そのような折り、Blood Chain 維持の大きな原動力となったのは、ウイルスにも負けない献血者のみなさまの熱意、そして行政ならびに報道機関の後押しでした。日本赤十字社の血液事業が、国民、そして社会の共感の上に成り立っていることを、改めて認識させられました。

私どもにとってのせめてもの救いは、既に 11 月から全献血者の体温測定をルーチン化していたこと、そして前年度から稼働していた web 会員サービス「ラブラッド」の本格運用を開始していたことでした。これらの取り組みにより、発熱した方の献血会場への入場を制限するとともに、採血時間枠を予約して頂くことによる三密回避にスムーズに移行することができました。移動採血でも、順次、予約運用を開始しているところです。

グロブリン製剤の需要増加にともない、ご協力頂かなければならない献血者数は、コロナ禍とは関係なく増え続けています。国民、そして日本を守るためにも引き続き献血へのご協力をお願い申し上げる次第です。なお、現時点では体温とともに、血圧、脈拍数による献血制限が法令により規定されておりますので、ご理解をお願い申し上げます。

今後も引き続き安全な血液製剤を安定して供給するために地域血液センターと協働し、職員一丸となって活力に満ちた九州ブロックの血液事業を展開してまいります。職員一人ひとりが、更なる使命感を持って業務に邁進してまいりますので、関係各位におかれましては、引き続き血液事業へのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

Ⅰ　九州ブロック血液センター概況

1．沿革

平成 20 年 1 月　日本赤十字社九州血液センターを新たに開設
より安全性の高い血液製剤と安定した供給を求められていることから、新しい高度な検査機器を導入して、九州・沖縄 8 県の献血血液の検査業務を開始

3 月　九州 7 県で献血された血液を各県の枠組みを超えて九州血液センターに集め、輸血用血液製剤の製造業務を開始

8 月　感染症検査を凝集法から化学発光酵素免疫法（CLEIA 法）に変更

12 月　全国で 4 施設目となる NAT（核酸増幅検査）を開始

平成 21 年 3 月　糖尿病関連検査（グリコアルブミン検査）を開始

平成 22 年 1 月　変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（vCJD）対策の献血制限は、輸血用血液製剤の安全性や安定供給等に及ぼす影響を検討した結果、昭和 55 年から平成 8 年の間の英国滞在歴が通算 30 日までの方の献血を可能として緩和

5 月　血漿分画製剤用原料血漿の貯留保管及び検体保管開始

12 月　200mL 全血献血者の方にも、血球計数検査結果の通知を開始

平成 23 年 4 月　採血基準が一部改正され、男性に限り 400mL 全血献血が可能な方の年齢の下限を 18 歳から 17 歳に引き下げるとともに、男性に限り血小板成分献血が可能な方の年齢の上限を 54 歳から 69 歳に引き上げ
問診票の質問事項を、14 項目から 23 項目に改訂
複数回献血クラブ会員の会員特典として、新たな複数回献血クラブ会員専用の献血カードを導入

平成 24 年 4 月　広域事業運営体制を開始
日本赤十字社九州血液センターから日本赤十字社九州ブロック血液センターへ改組。
併せて沖縄県赤十字血液センター内の製造施設が日本赤十字社九州ブロック血液センター沖縄製造所（分置施設）となる（4 部 19 課 41 係）
所長に清川博之氏（前：福岡県赤十字血液センター所長）が就任

8 月　HBV の検査基準を変更

10 月　日本赤十字社と田辺三菱製薬株式会社が持つ血漿分画事業を統合して設立した、一般社団法人日本血液製剤機構が事業を開始

平成 25 年 5 月　九州ブロック血液事業関係者会議が発足

9 月　成分採血由来の新鮮凍結血漿の容量を 450mL から 480mL に変更
3 つの製剤規格の容量を整数倍へ（120mL、240mL、480mL）

12 月　九州ブロック管内血液センター表彰制度「グッドジョブ賞」を創設

平成 26 年 5 月　血液事業統一システムから血液事業情報システムへ移行し、運用を開始

8 月　更なる安全性向上のため、8 月 1 日より献血者 1 人分の血液ごとに NAT を行う「個別 NAT」を全国 8 カ所の検査施設で実施
赤血球液（RBC-LR）及び照射赤血球液（Ir-RBC-LR）の製造・供給開始
赤血球濃厚液（RCC-LR）及び照射赤血球濃厚液（Ir-RCC-LR）の製造・供給停止

10 月　ヘリを用いた血液緊急搬送訓練を初めて実施（宮崎県総合防災訓練）

検査サービス通知の基準値を変更

製剤自動化第1期設備(秤量装置、ラベリング装置、袋詰め装置)稼働

11月　分割血小板の採血及び製造を開始

12月　製剤自動化第2期設備(受入装置、ろ過固定ラック、封緘装置、製品化装置)稼働

平成27年4月　一定条件下にある過去の献血血液に対し、シャーガス病の抗体検査を開始

6月　西本至血液事業本部長が退任

7月　田所憲治氏（前：血液事業本部経営会議委員（総括））が血液事業本部長に就任

8月　九州各県合同輸血療法委員会関係者会が発足

11月　九州八県支部合同災害救護訓練に初参加（血液緊急搬送訓練）

平成28年3月　清川所長が退任

4月　所長に入田和男氏（前：佐賀県赤十字血液センター所長）が就任

業務内容見直しに伴う組織の改正を実施（4部17課39係）

事業部に献血管理課、品質部に品質保証課を設置

事業部登録管理課、技術管理課、品質保証課、品質部品質管理課を廃止

品質部検査一課に検査三係を設置

製剤部技術課品質管理係を品質保証係に改称

熊本地震発災に伴う災害対策本部を設置

5月　熊本地震発災に伴う災害対策本部を解散

9月　照射洗浄血小板（Ir-WPC-LR）及び照射洗浄血小板 HLA（Ir-WPC-HLA-LR）の製造・供給開始

10月　第41回日本血液事業学会総会長に入田所長を指名

12月　第41回日本血液事業学会総会ワーキングパーティ開催

平成29年2月　第41回日本血液事業学会総会第1回プログラム委員会開催

3月　田所血液事業本部長が退任

4月　髙橋孝喜氏が血液事業本部長に就任

ブロック血液センター組織体制の変更を実施

総務部の企画課、総務課、人事課を統合し、総務企画課と名称変更

総務企画課に企画係、総務係、情報管理係、人事係、人材育成係を設置

8月　第41回日本血液事業学会総会第2回プログラム委員会開催

10月　医薬品医療機器総合機構によるGMP適合性調査（3日～5日）

第41回日本血液事業学会総会開催（10月31日～11月2日、福岡国際会議場）

12月　九州八県支部合同災害救護訓練に参加（大分）

平成30年8月　くもじ献血ルーム採血分（成分のみ）ブロックセンターに於ける製造を開始

12月　九州八県支部合同災害救護訓練に参加（佐賀）

平成31年3月　沖縄製造所閉所

4月　ブロック血液センター組織体制の変更を実施

総務部の用度課を経理課に統合

経理課に経理係、出納係、用度係、施設係を設置

令和 2年 8月　E型肝炎検査（HEV NAT検査）を開始

9月　採血基準が一部改正され、血圧、脈拍、体温を規定

２．施設概要

（1）日本赤十字社九州ブロック血液センター

所在地：福岡県久留米市宮ノ陣三丁目 4 番 12 号

代表電話：0942-31-8900

構造設備：敷地面積　18,669.93 ㎡

管理棟　　鉄骨造　地上 2 階

製造棟　　鉄骨造　地上 2 階

貯留棟　　鉄骨造　地上 3 階

駐車場棟　鉄骨造　地上 2 階

倉庫棟　　鉄骨造　地上 1 階

延床面積

管理棟１階	702.0 ㎡
管理棟２階	702.0 ㎡
製造棟１階	5,322.34 ㎡
・検査部門	1,870.69 ㎡
・製剤部門	1,409.11 ㎡
・品質管理部門	255.94 ㎡
・需給管理部門	335.60 ㎡
・その他　（共有部分・ポンプ室）	1,451.00 ㎡
製造棟２階（機械室等）	515.19 ㎡
貯留棟１階	1,015.04 ㎡
貯留棟 2 階	368.78 ㎡
貯留棟 3 階	230.92 ㎡
駐車場棟	1,218.75 ㎡
倉庫棟	345.80 ㎡

(2) 日本赤十字社九州ブロック血液センター　筑紫野分室

所在地：福岡県筑紫野市上古賀一丁目 2-1　福岡県赤十字血液センター内

品質部付電話：092-921-1403、製剤三課電話：092-921-1435

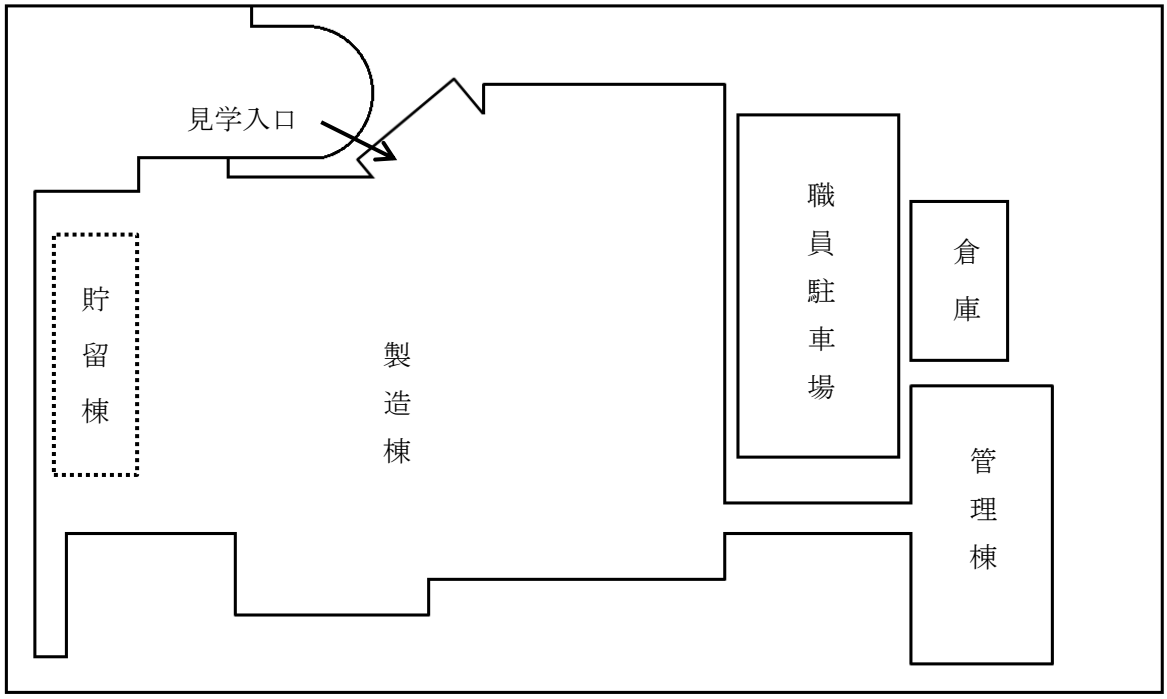
延床面積

３階　さい帯血バンク受入・検査室	56.40 ㎡
さい帯血バンク細胞保存室	37.50 ㎡
さい帯血バンク資材室（前室含む）	65.07 ㎡
さい帯血バンク事務室	23.40 ㎡
クリーンルーム（大）	79.50 ㎡
エアーシャワー	2.38 ㎡
前室	3.54 ㎡
クリーンルーム（小）	5.80 ㎡
前室	1.27 ㎡

	フリーザー室※製剤三課・品質部付共用	88.12 ㎡
	ボンベ室	5.10 ㎡
	機械室	9.28 ㎡
４階	品質部フリーザー室	20.30 ㎡
	暗室	7.38 ㎡
５階	研究室Ａ、Ｂ、Ｃ	116.03 ㎡
	無菌室Ａ、Ｂ、Ｃ（前室含む）	66.69 ㎡
	品質部機器測定室	13.80 ㎡
	品質部個人情報保管室	16.70 ㎡
	品質部事務室	15.10 ㎡
	品質部資材庫	13.00 ㎡
	試薬用冷室	11.00 ㎡
	機械室	5.13 ㎡

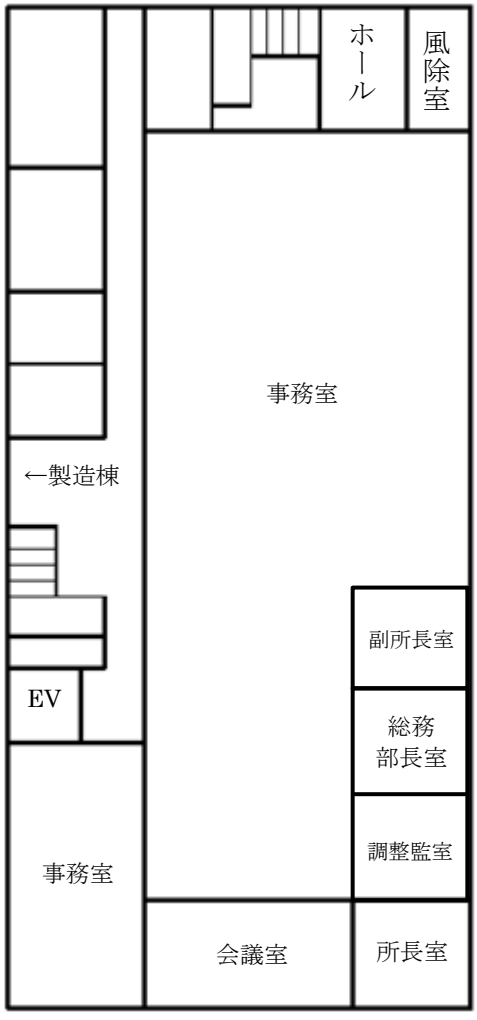
3．施設案内（日本赤十字社九州ブロック血液センター）

（1）施設構内図

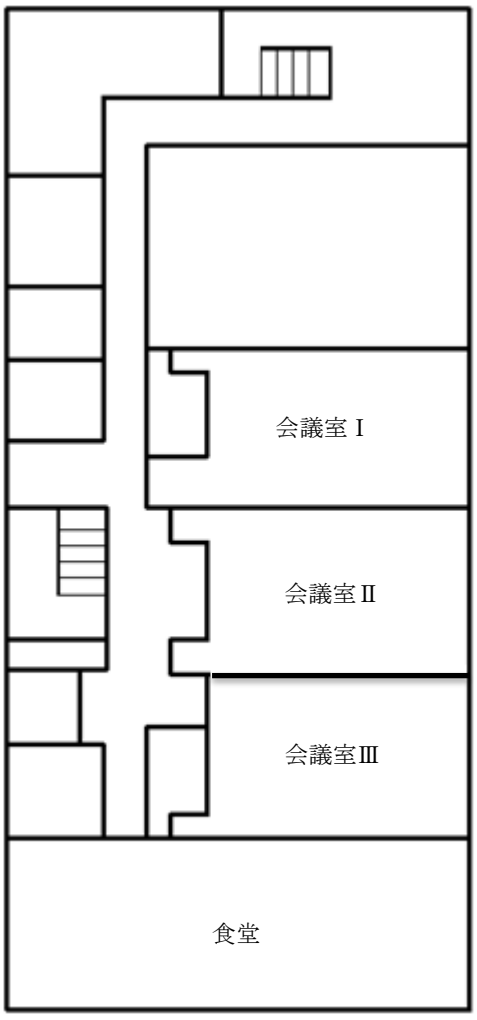


（2）管理棟配置図

【管理棟１階】

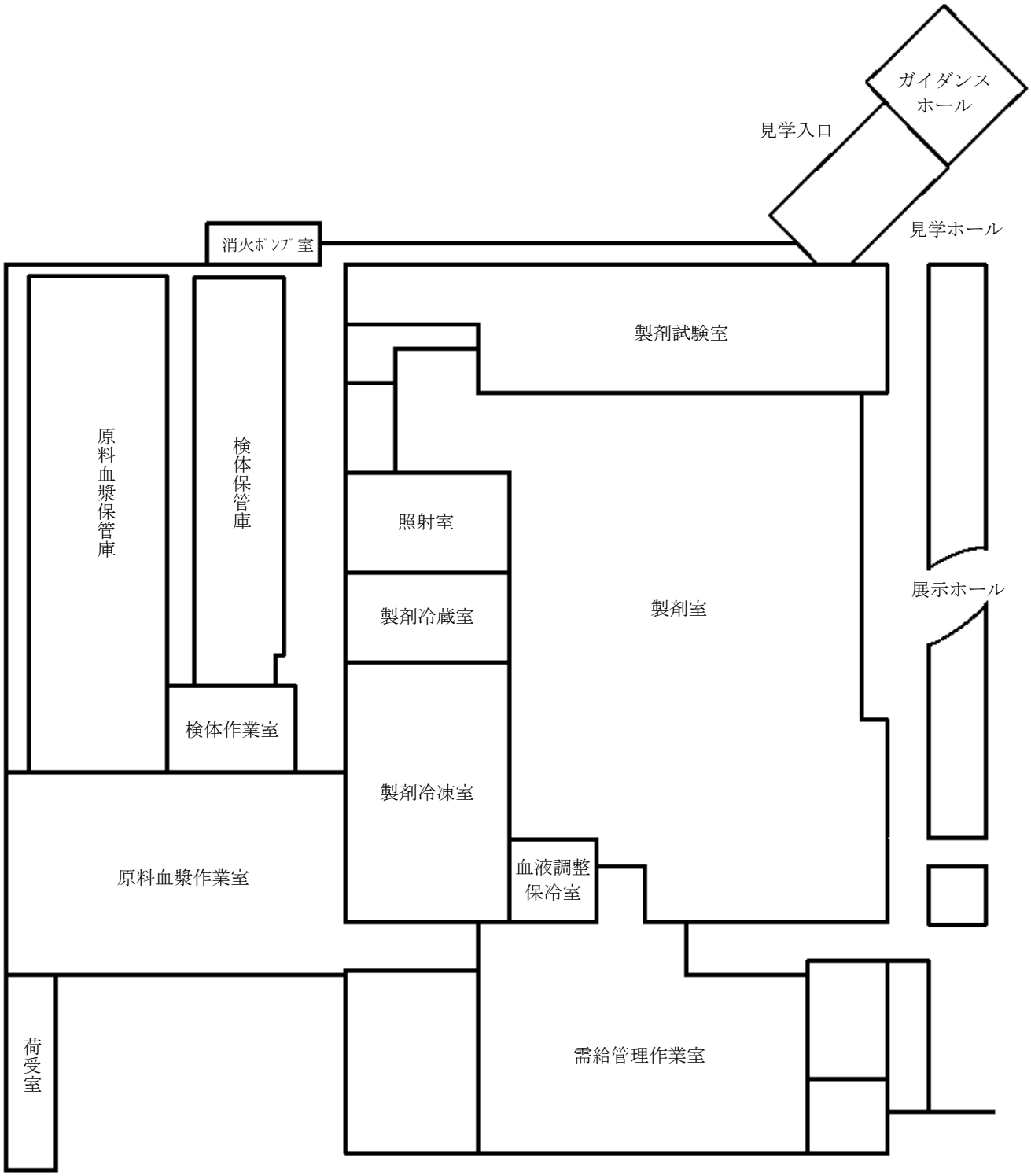


【管理棟２階】

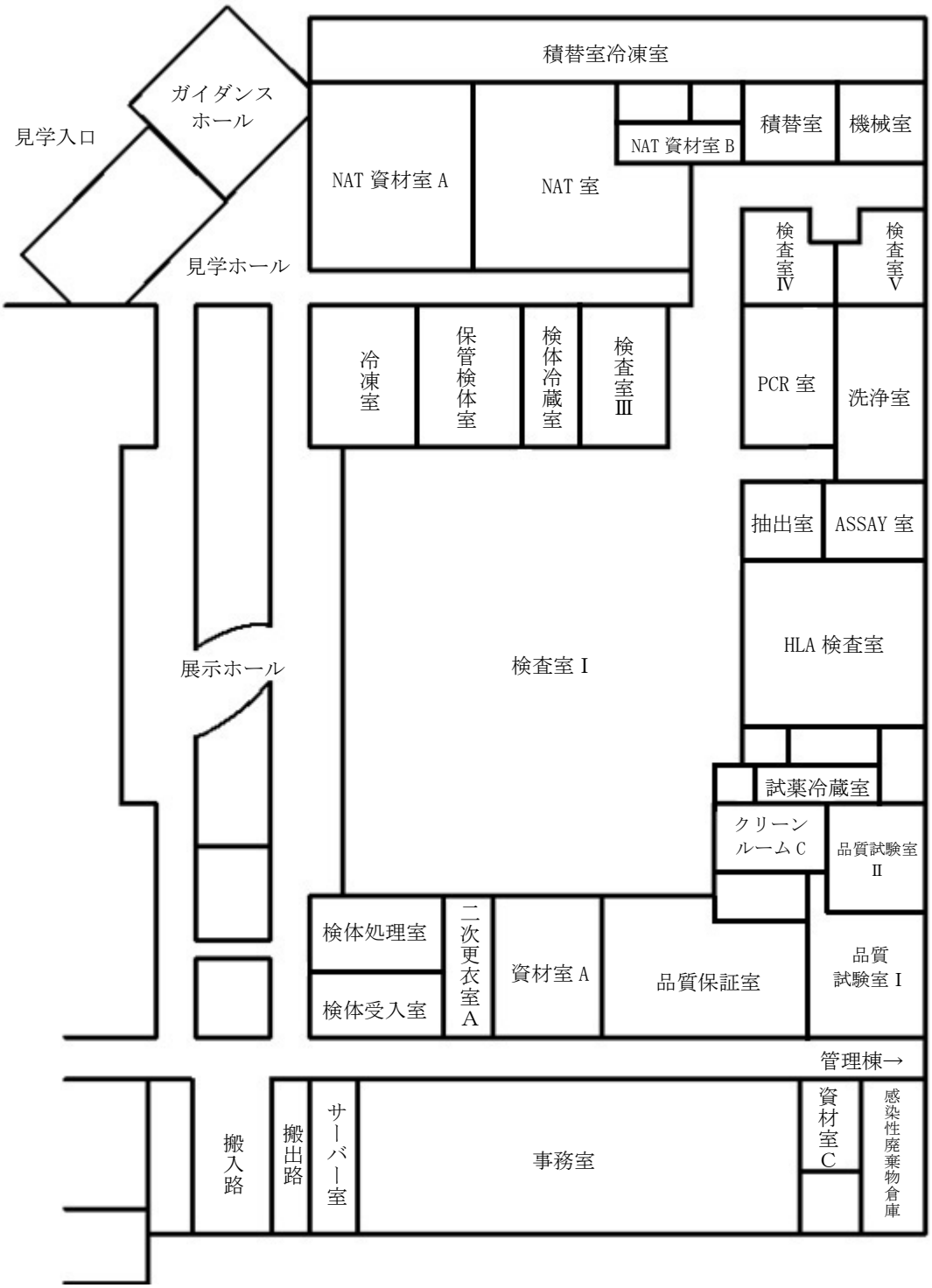


（３）製造棟配置図

【製造棟】1/2

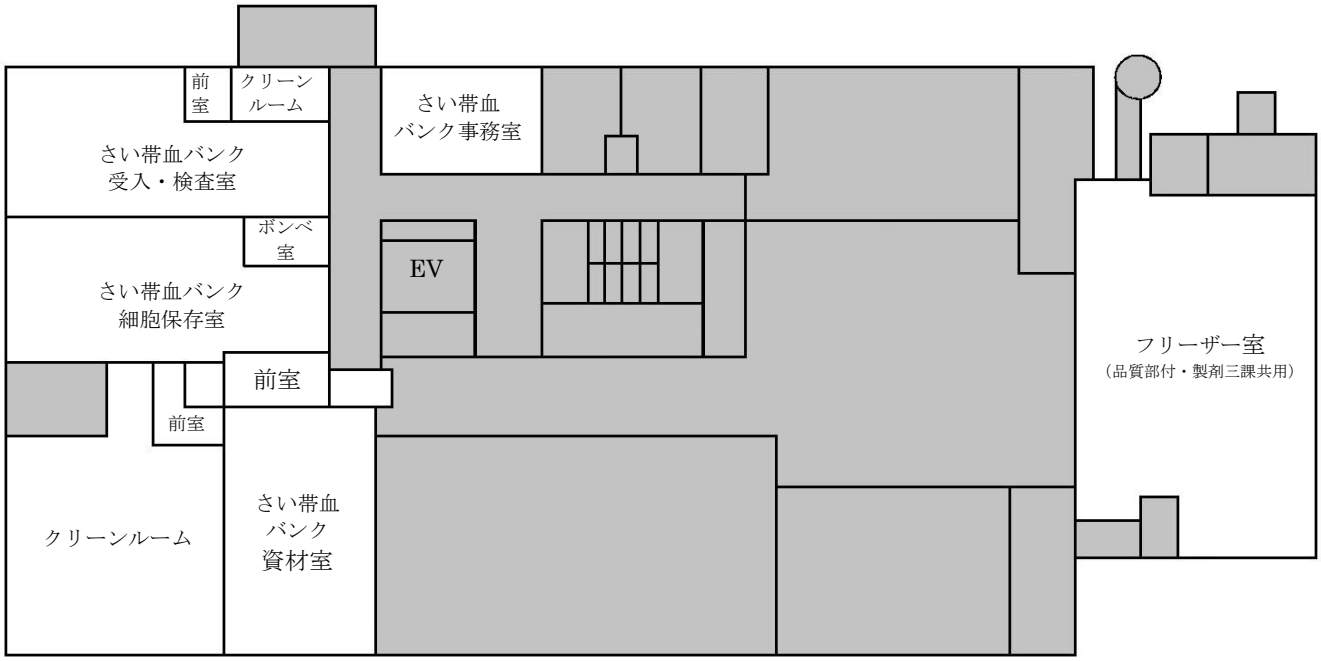


【製造棟】2/2

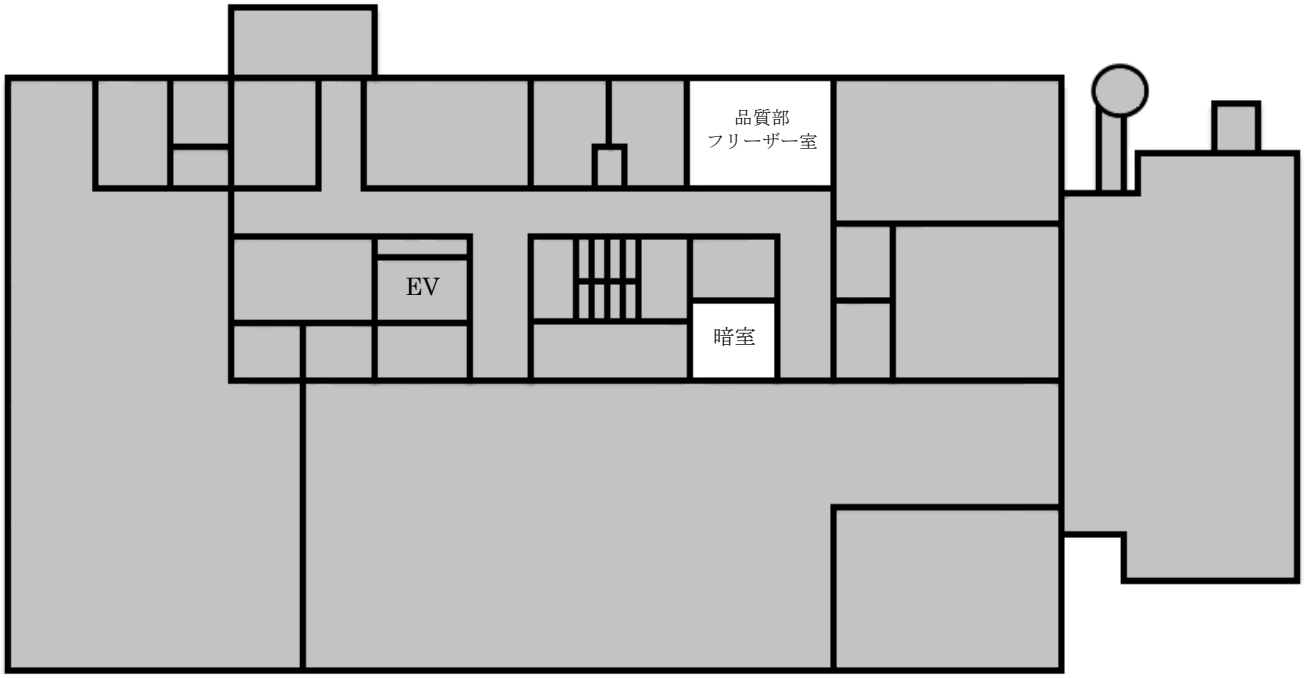

積替室冷凍室
ガイダンス
ホール
見学入口
NAT 資材室 A
NAT 室
NAT 資材室 B
積替室
機械室
検査室Ⅳ
検査室Ⅴ
見学ホール
冷凍室
保管検体室
検体冷蔵室
検査室Ⅲ
PCR 室
洗浄室
抽出室
ASSAY 室
HLA 検査室
展示ホール
検査室 I
試薬冷蔵室
クリーン
ルーム C
品質試験室
Ⅱ
検体処理室
検体受入室
二次更衣室
A
資材室 A
品質保証室
品質
試験室 I
管理棟→
搬入路
搬出路
サーバー室
事務室
資材室
C
感染性廃棄物倉庫

4．施設案内（日本赤十字社九州ブロック血液センター筑紫野分室）

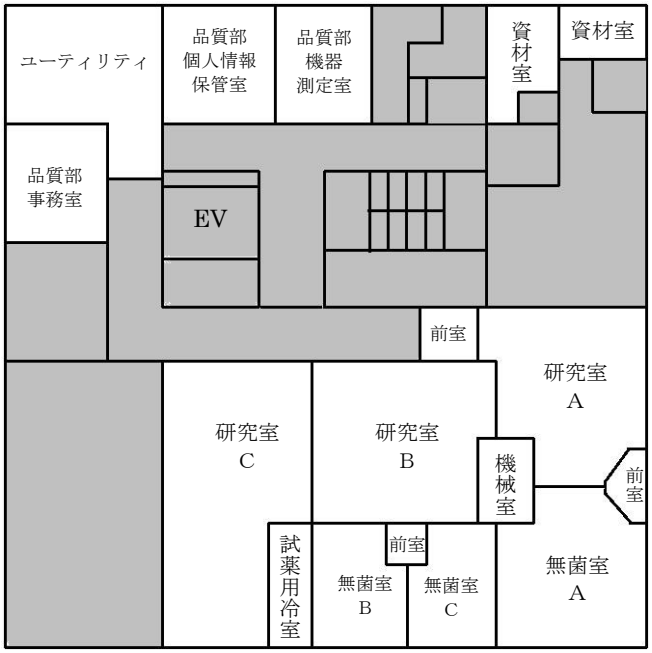
【筑紫野分室３階】



【筑紫野分室４階】



【筑紫野分室５階】



【補足説明】

白抜き部分が福岡県赤十字血液センター内の日本赤十字社九州ブロック血液センター筑紫野分室に係るエリア

５．九州の血液事業施設

平成 31 年 4 月 1 日時点における九州ブロック内の血液事業に係る施設は以下のとおり。

（１）製造施設(検査・製剤)

・九州ブロック血液センター

〒839-0801 福岡県久留米市宮ノ陣 3-4-12　TEL:0942-31-8900

（２）血液センター

・福岡県赤十字血液センター

〒818-8588 福岡県筑紫野市上古賀 1-2-1　TEL:092-921-1400

・佐賀県赤十字血液センター

〒849-0925 佐賀県佐賀市八丁畷町 10-20　TEL:0952-32-1011

・長崎県赤十字血液センター

〒852-8145 長崎県長崎市昭和 3-256-11　TEL:095-843-3331

・熊本県赤十字血液センター

〒861-8039 熊本県熊本市東区長嶺南 2-1-1　TEL:096-384-6000

・大分県赤十字血液センター

〒870-0889 大分県大分市大字荏隈 717-5　TEL:097-547-1151

・宮崎県赤十字血液センター

〒880-8518 宮崎県宮崎市大字恒久 885-1　TEL:0985-50-1800

・鹿児島県赤十字血液センター

〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新町 1-5　TEL:099-257-3141

・沖縄県赤十字血液センター

〒902-0076 沖縄県那覇市与儀 1-4-1　TEL:098-833-4747

（３）事業所・出張所

・福岡県赤十字血液センター北九州事業所

〒806-0044 福岡県北九州市八幡西区相生町 15-1　TEL:093-631-1211

・長崎県赤十字血液センター佐世保出張所

〒857-1161 長崎県佐世保市大塔町 8-66　TEL:0956-26-1866

（４）献血ルーム

・献血ルームおっしょい博多

〒812-0012 福岡県福岡市博多区博多駅中央街 2-1 博多バスターミナル 8 階

TEL:092-476-1400

・献血ルームキャナルシティ

〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉 1-2-25 キャナルシティビジネスセンタービル 1 階

TEL:092-272-5853

・献血ルームハッピークロスイムズ

〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神 1-7-11 イムズ 8 階　TEL:092-726-1188

・献血ルームくろさきクローバー

〒806-0036 福岡県北九州市八幡西区西曲里町 3-1 イオンタウン黒崎 1 階　TEL:093-644-1211

・献血ルーム魚町銀天街

〒802-0006 福岡県北九州市小倉北区魚町 1-3-3 白樺ビル　TEL:093-551-1211

・献血プラザさが

〒849-0925 佐賀県佐賀市八丁畷町 10-20　TEL:0952-32-1011

・献血ルームはまのまち

〒850-0853 長崎県長崎市浜町 8-10 多真喜ビル 3 階　TEL:095-824-3332

・献血ルーム西海

〒857-0872　長崎県佐世保市上京町 6-16 オレンジアベニュービル 5 階　TEL:0956-25-2440

・日赤プラザ献血ルーム

〒861-8039　熊本市東区長嶺南 2-1-1　TEL:096-384-6727

・下通り献血ルームＣＯＣＯＳ八

〒860-0807 熊本県熊本市中央区下通 1-3-8 下通 NS ビル 5 階　TEL:096-325-9218

・献血ルーム・わったん

〒870-1198　大分県大分市大字玉沢字楠本 755-1 トキワわさだタウン 3 街区 2 階　TEL:097-574-6822

・献血ルームカリーノ

〒880-0805 宮崎県宮崎市橘通東 4-8-1 カリーノ宮崎 3 階　TEL:0985-23-0007

・献血プラザかもいけクロス

〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新町 1-5　TEL: 099-257-3141

・献血ルーム・天文館

〒892-0842 鹿児島県鹿児島市東千石町 13-16 天文館ビル 2 階　TEL:099-222-6511

・くもじ献血ルーム

〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地 1-3-1 セントラルビル 3 階　TEL:098-864-0368

（５）供給出張所

・宮崎県赤十字血液センター延岡供給出張所

〒882-0805 宮崎県延岡市野田 3-6-3　TEL:0982-42-3100

・鹿児島県赤十字血液センター鹿屋出張所

〒893-1204 鹿児島県肝属郡肝付町富山 1006-1　TEL:0994-45-4199

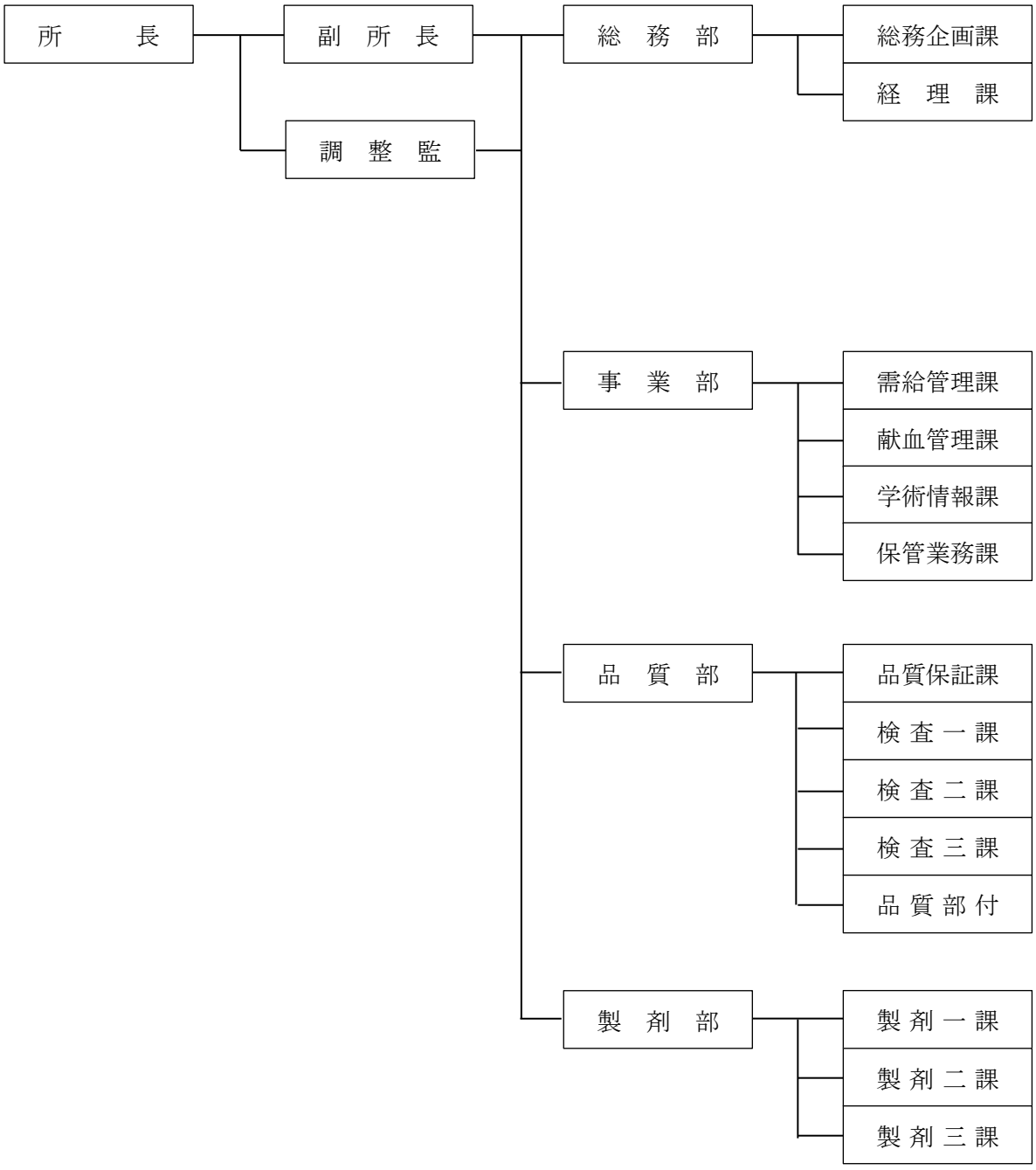
・鹿児島県赤十字血液センター川内出張所

〒895-0072 鹿児島県薩摩川内市中郷 3-284　TEL:0996-29-4199

Ⅱ　組織及び管理運営の状況

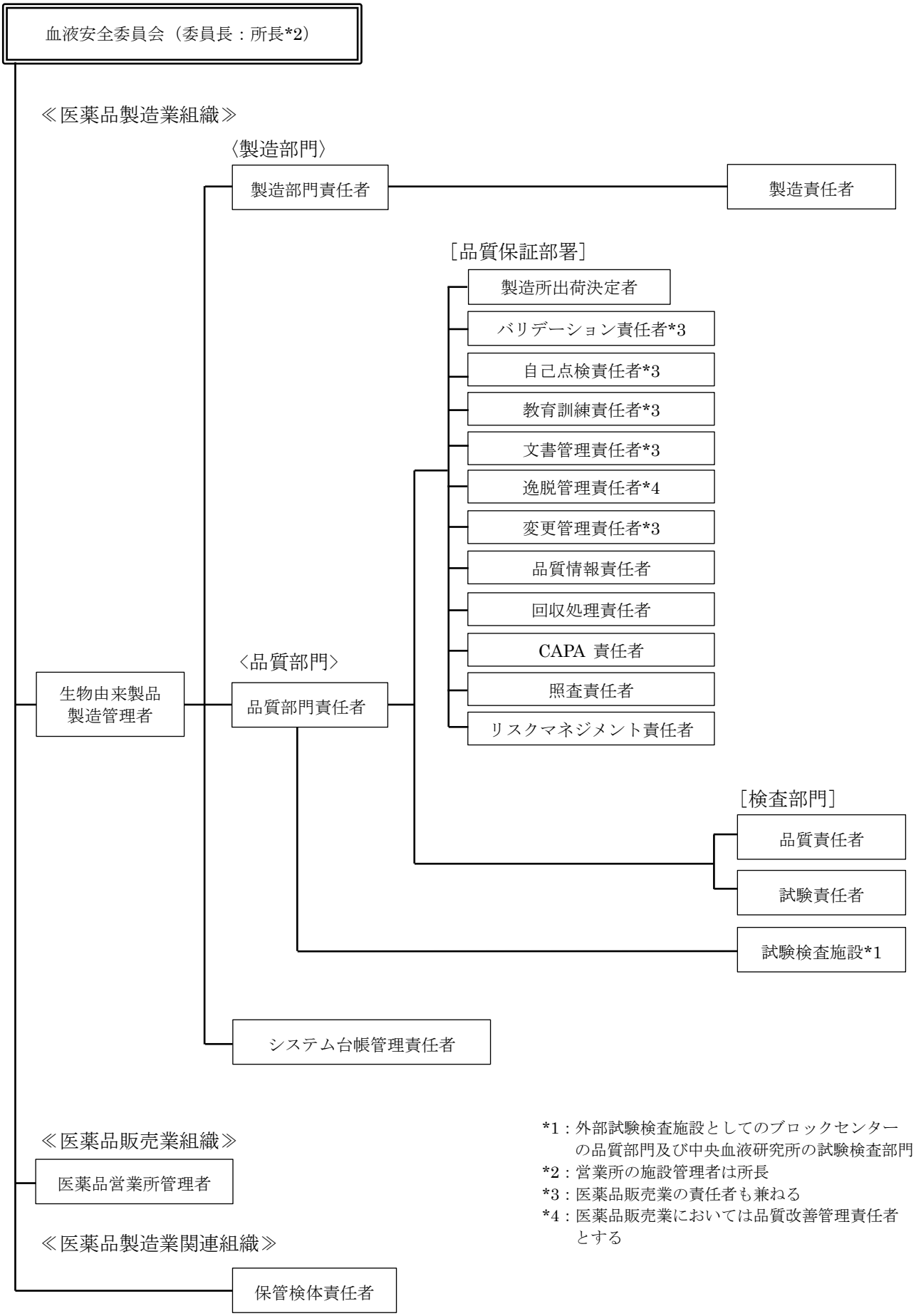
１．組織図

平成 31 年 4 月 1 日現在



2．管理運営

（1）事業運営機能図

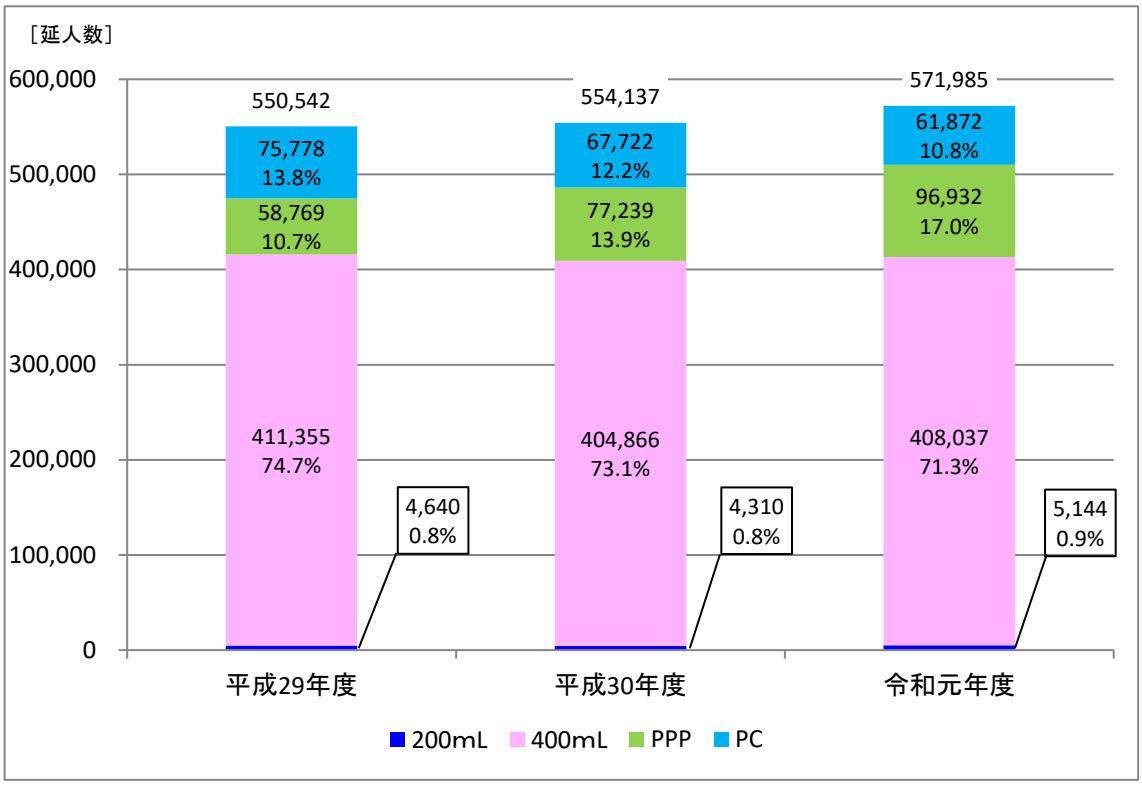


*1：外部試験検査施設としてのブロックセンターの品質部門及び中央血液研究所の試験検査部門
*2：営業所の施設管理者は所長
*3：医薬品販売業の責任者も兼ねる
*4：医薬品販売業においては品質改善管理責任者とする

Ⅲ　九州ブロックにおける献血と供給の状況

１．献血状況

（1）献血実績



（2）献血状況

・全ての献血種類合算・延べ献血者数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
福岡	194, 110	198, 133	207, 426
佐賀	30, 749	30, 178	31, 188
長崎	53, 842	53, 349	53, 214
熊本	70, 344	71, 765	74, 399
大分	45, 416	46, 105	48, 391
宮崎	42, 091	39, 929	39, 113
鹿児島	61, 438	61, 840	64, 589
沖縄	52, 552	52, 838	53, 665
合計	550, 542	554, 137	571, 985

・200mL 献血・延べ献血者数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
福岡	2	6	51
佐賀	223	255	631
長崎	805	856	852
熊本	1,083	1,184	1,308
大分	615	472	1,104
宮崎	467	240	234
鹿児島	858	713	312
沖縄	587	584	652
合計	4,640	4,310	5,144

・400mL 献血・延べ献血者数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
福岡	146,043	145,968	149,808
佐賀	19,489	18,027	17,726
長崎	39,084	38,438	37,840
熊本	51,294	51,443	52,385
大分	35,676	35,615	35,898
宮崎	32,950	30,533	29,268
鹿児島	47,707	46,157	47,615
沖縄	39,112	38,685	37,497
合計	411,355	404,866	408,037

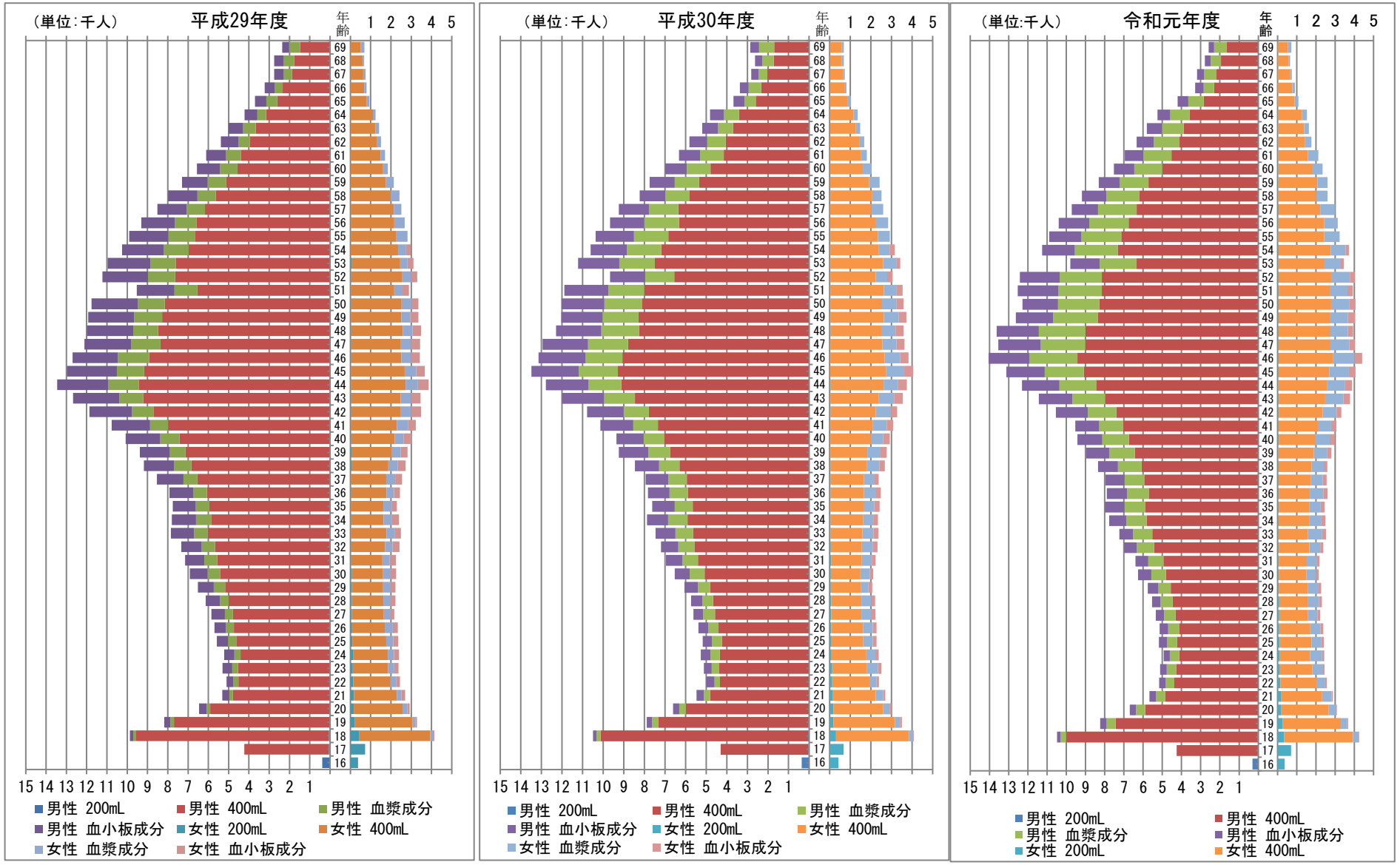
・血漿成分献血・延べ献血者数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
福岡	22,466	30,936	34,351
佐賀	6,366	7,083	7,851
長崎	6,295	7,764	9,482
熊本	8,940	11,111	14,537
大分	3,684	5,534	7,482
宮崎	2,347	3,131	4,976
鹿児島	2,520	4,664	7,771
沖縄	6,151	7,016	10,482
合計	58,769	77,239	96,932

・血小板成分献血・延べ献血者数

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
福岡	25,599	21,223	23,216
佐賀	4,671	4,813	4,980
長崎	7,658	6,291	5,040
熊本	9,027	8,027	6,169
大分	5,441	4,484	3,907
宮崎	6,327	6,025	4,635
鹿児島	10,353	10,306	8,891
沖縄	6,702	6,553	5,034
合計	75,778	67,722	61,872

(3) 「年齢・献血種別・性別」延べ献血者数



※九州ブロック内における献血受付時の年齢、性別で集計。

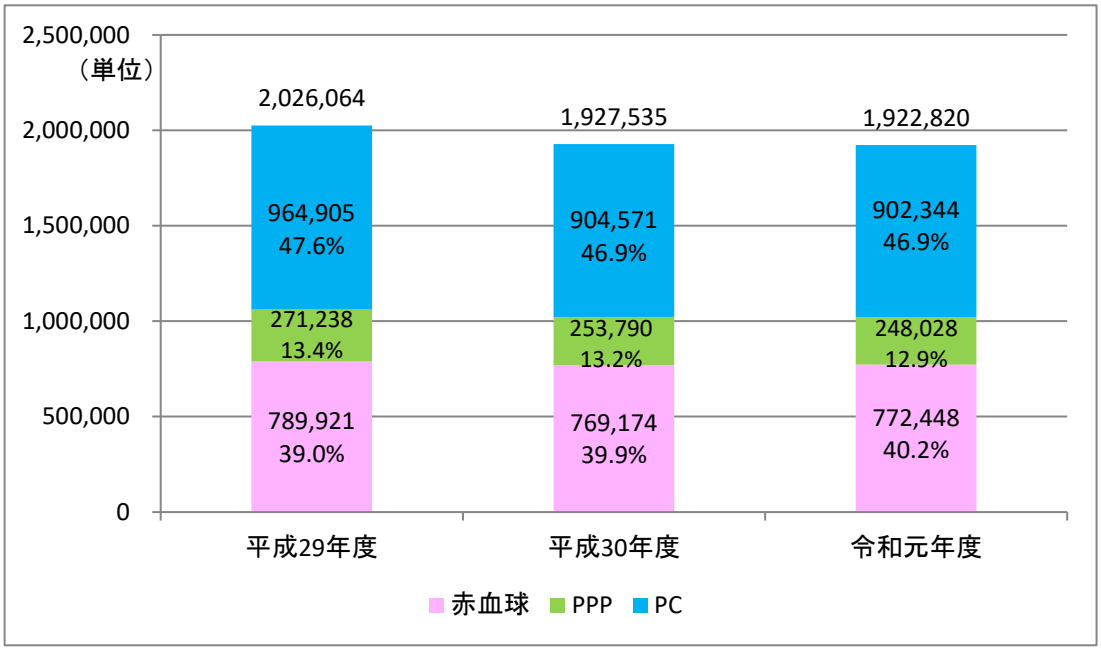
・令和元年度の延べ献血者数（年齢・献血種類・性別）

年齢	男性				女性			
	200mL	400mL	血漿成分	血小板成分	200mL	400mL	血漿成分	血小板成分
16	308				372			
17	57	4,199			702			
18	36	9,979	294	175	344	3,580	309	26
19	15	7,419	463	334	269	3,029	325	54
20	11	5,886	474	320	177	2,485	358	68
21	8	4,843	471	343	180	2,145	488	68
22	8	4,363	448	342	153	1,874	459	82
23	4	4,260	503	348	133	1,689	510	113
24	6	4,115	490	324	103	1,590	626	118
25	1	4,221	535	415	115	1,647	527	114
26	5	4,121	564	448	90	1,614	538	138
27	4	4,313	582	442	89	1,477	514	147
28	3	4,454	632	439	96	1,497	574	142
29	4	4,555	637	559	68	1,508	565	135
30	2	4,803	763	697	67	1,423	523	135
31	5	4,942	787	661	62	1,459	536	130
32	5	5,413	911	654	71	1,584	565	166
33	2	5,517	1,005	708	49	1,530	745	213
34	2	5,821	1,041	899	48	1,597	614	237
35	5	5,875	1,085	1,024	66	1,581	597	210
36	3	5,709	1,125	1,053	64	1,617	703	218
37	0	5,938	1,025	1,005	49	1,695	608	202
38	4	6,075	1,235	1,037	54	1,729	629	177
39	0	6,435	1,328	1,197	42	1,848	702	206
40	2	6,744	1,372	1,307	60	1,917	741	258
41	7	7,030	1,249	1,239	49	2,049	694	267
42	3	7,391	1,487	1,658	67	2,285	721	252
43	1	7,972	1,711	1,749	60	2,429	945	349
44	2	8,446	1,911	1,944	36	2,530	956	356
45	3	9,080	2,044	1,990	58	2,638	1,018	348
46	2	9,422	2,486	2,138	59	2,817	1,135	400
47	2	9,013	2,313	2,216	56	2,703	976	293
48	3	8,998	2,430	2,200	49	2,700	923	261
49	1	8,346	2,344	1,940	59	2,653	949	370
50	1	8,284	2,145	1,849	59	2,738	937	326
51	1	8,153	2,251	2,116	61	2,658	926	280
52	2	8,147	2,192	2,081	56	2,732	981	259
53	1	6,359	1,904	1,531	39	2,413	812	193
54	3	7,318	2,236	1,702	52	2,717	771	175
55	4	7,136	2,069	1,673	43	2,384	811	
56	3	6,751	2,048	1,589	38	2,385	711	
57	1	6,336	2,003	1,373	49	2,180	773	
58	1	6,181	1,730	1,268	22	1,989	592	
59	2	5,720	1,495	1,089	33	2,042	537	
60	3	4,999	1,456	1,065	32	1,801	519	
61	1	4,517	1,474	956	17	1,567	535	
62	1	4,103	1,338	893	15	1,417	337	
63	4	3,872	1,143	787	15	1,369	246	
64	1	3,584	1,003	658	16	1,256	257	
65	0	2,840	811	553	5	888	190	
66	0	2,297	548	447	2	769	137	
67	1	2,176	655	361	4	646	93	
68	2	1,940	532	313	5	560	94	
69	5	1,654	648	277	4	542	174	

※九州ブロック内における献血受付時の年齢、性別で集計。

２．供給状況

（1）供給実績



※全血の供給実績無し

※単位数について

赤血球：200mL 献血由来を 1 単位、400mL 献血由来を 2 単位として計算

血漿：FFP-LR120 を 1 単位、FFP-LR240 を 2 単位、FFP-LR480 を 4 単位として計算

血小板：製剤規格の単位数をそのまま用いて計算

※数値について

九州ブロック各県の血液センターが医療機関へ納品した純供給数としている。他ブロックとの需給調整に係る数値は含めていない。

(2) 供給状況

・赤血球製剤のセンター別供給状況・単位換算

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
福岡	282,385	273,189	271,814
佐賀	38,072	36,555	37,447
長崎	77,818	75,341	75,371
熊本	98,990	94,551	99,359
大分	67,133	67,190	65,408
宮崎	60,170	57,151	54,653
鹿児島	94,210	95,356	96,997
沖縄	71,143	69,841	71,399
合計	789,921	769,174	772,448

・血漿製剤のセンター別供給状況・単位換算

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
福岡	101,135	93,478	91,076
佐賀	11,188	10,246	9,870
長崎	28,339	24,535	20,742
熊本	31,206	29,063	31,953
大分	19,388	22,853	18,703
宮崎	18,990	17,827	16,545
鹿児島	30,165	28,797	28,909
沖縄	30,827	26,991	30,230
合計	271,238	253,790	248,028

・血小板製剤のセンター別供給状況・単位換算

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
福岡	362,895	335,126	316,140
佐賀	31,720	30,415	33,735
長崎	105,800	95,625	99,460
熊本	111,220	97,020	97,550
大分	89,080	80,735	81,050
宮崎	84,435	82,240	73,050
鹿児島	97,394	100,493	108,055
沖縄	82,361	82,917	93,304
合計	964,905	904,571	902,344

Ⅳ　付録：各課データ集

【 総務部 】

1．総務企画課

1-1．九州ブロック血液事業運営会議・九州ブロック部長会議

日時	内容	場所
平成 31 年４月 19 日（金） 13:30～16:50	第１回九州ブロック部長会議	九州ブロック血液センター 2 階　大会議室Ⅱ・Ⅲ
令和元年５月 30 日（木） 13:30～16:30	第２回九州ブロック部長会議（Web 会議）	九州ブロック血液センター 2 階　大会議室Ⅰ
令和元年６月 28 日(金) 11:00～16:50	第１回九州ブロック血液事業運営会議 第３回九州ブロック部長会議合同会議	博多バスターミナル９F 第 1・2 ホール
令和元年７月 26 日(金) 13:30～15:35	第４回九州ブロック部長会議（Web 会議）	九州ブロック血液センター 2 階　大会議室Ⅰ
令和元年８月 23 日(金) 13:30～16:40	第５回九州ブロック部長会議	九州ブロック血液センター 2 階　大会議室Ⅱ・Ⅲ
令和元年９月 27 日(金) 13:30～16:00	第６回九州ブロック部長会議（Web 会議）	九州ブロック血液センター 2 階　大会議室Ⅱ・Ⅲ
令和元年 10 月８日(火) 11:00～16:30	第２回九州ブロック血液事業運営会議	博多バスターミナル９F 第 1・2 ホール
令和元年 10 月 31 日(木) 13:30～17:00 令和元年 11 月１日（金） 9:30～12:20	第７回九州ブロック部長会議	九州ブロック血液センター 2 階　大会議室Ⅱ・Ⅲ
令和元年 11 月 29 日（金） 13:30～16:10	第８回九州ブロック部長会議（Web 会議）	九州ブロック血液センター 2 階　大会議室Ⅰ
令和元年 12 月 13 日(金) 11:00～17:00	第３回九州ブロック血液事業運営会議	博多バスターミナル９F 第 1・2 ホール
令和元年 12 月 17 日(水) 13:30～17:00 令和元年 12 月 18 日(木) 9:30～12:00	第９回九州ブロック部長会議	九州ブロック血液センター 2 階　会議室Ⅱ・Ⅲ
令和２年１月 31 日(金) 13:30～15:50	第 10 回九州ブロック部長会議(Web 会議)	九州ブロック血液センター 2 階　大会議室Ⅰ
令和２年２月 28 日(金) 13:30～17:20 令和２年３月４日(水) 10:00～12:00	第 11 回九州ブロック部長会議	九州ブロック血液センター 2 階　大会議室Ⅱ・Ⅲ 九州ブロック血液センター 2 階　大会議室Ⅰ
令和２年３月 11 日(水) 13:00～15:00	第４回九州ブロック血液事業運営会議 第 12 回九州ブロック部長会議合同会議(Web 会議)	九州ブロック血液センター 2 階　大会議室Ⅰ

1－2.施設見学の受け入れ

	団体数	人数
赤十字奉仕団	1	42
献血推進協議会	7	128
医療技術専門学校	0	0
民生・児童・福祉委員会・協議会等	24	439
日本赤十字社関連施設	4	48
施設関係者(日赤以外)	0	0
学校	5	80
市役所、保健所等	0	0
個人	8	18
その他	9	171
合計	58	926

1－3． 職員数

所長		1
副所長		1
調整監		1
総務部	総務部長	1
	参事	1
	総務部　総務企画課	15
	総務部　経理課	13
事業部	事業部長	1
	事業部　需給管理課	18
	事業部　献血管理課	7
	事業部　学術情報課	3
	事業部　保管業務課	6
品質部	品質部長	1
	品質部　品質保証課	7
	品質部　検査一課	14
	品質部　検査二課	12
	品質部　検査三課	15
	品質部付	2
製剤部	製剤部長	1
	部付課長	1
	製剤部　製剤一課	60
	製剤部　製剤二課	3
	製剤部　製剤三課	6
計		190

平成31年４月１日現在

１−４．　その他イベント・地域貢献活動

活動内容	日程
地域清掃活動	月１回
アルカディア地区献血	４月26日、８月28日
自動車安全運転講習会	8月7日
アルカディア虹の会　夏まつり	8月23日
日赤職員親善体育大会（バレーボール大会）	11月9日
九州ブロック内血液センター災害対応訓練	12月16日
アルカディア虹の会　餅つき大会	12月26日
九州ブロック血液センター内献血	12月27日
消火・避難訓練	2月12日

災害対策訓練

地域清掃活動

１−５．　労働安全

活動内容	日程
安全衛生委員会	月１回
健康診断	年１回
職員血液検査	年２回
ストレスチェック	９月
メンタルヘルス研修	11月５日、11日、12日